

LIVING LIBRARY “生きている本”を読む



親和新聞



経験・知識を子供たちの未来のために活かして

「生きている本」は、読者の経験や知識を「本」として共有する活動です。読者は、自分の経験や知識を「本」として提供し、他の読者が読むことができます。これは、読者の経験や知識を共有し、学びを促進するための活動です。

「生きている本」は、読者の経験や知識を「本」として共有する活動です。読者は、自分の経験や知識を「本」として提供し、他の読者が読むことができます。これは、読者の経験や知識を共有し、学びを促進するための活動です。



災害への事前準備の大切さ

Living Libraryって
一体何をするのだろうか？



医療体制の進化と供に 身近な災害対策を！！

医療体制の進化と供に身近な災害対策を！！

「本」を表紙で判断してはならない。

リビングライブラリー（ヒューマンライブラリー）とは、「生きている本」を「本」として参加したり読んだりする活動のことです。読者は、自分の経験や知識を「本」として提供し、他の読者が読むことができます。これは、読者の経験や知識を共有し、学びを促進するための活動です。

今回、親和中学校の一般生徒は、防災・救助活動に携わった経験がある6人講師の方々から様々な体験や個別対応などについて学ぶオンライン・対面講演会を2022年11月1日（火）に開催しました。当日はそれぞれ6人の講演者の方から様々な経験や知識を聞き取りました。この記事では、下記の4人の講師の方から今回のイベントで学んだ内容を順に紹介させていただきます。

復興支援：（東京女子大、マリ・クリスティース氏）
行政：（兼松原議員、田本一朗氏）
救助：（自衛隊神戸支部）
医療：（DMAT、中山 伸一氏）



被災者に寄り添い 国民を守る

被災者に寄り添い国民を守る



Key Learning

「生きている本」は、読者の経験や知識を「本」として共有する活動です。読者は、自分の経験や知識を「本」として提供し、他の読者が読むことができます。これは、読者の経験や知識を共有し、学びを促進するための活動です。

